

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第42号

令和6年2月16日発行

スキー移動教室から2週間

スキー移動教室が終わり、もう2週間が経とうとしています。昨日の一斉委員会の後にスキー実行委員会を開き、みなさんのアンケートをもとに振り返りを行いました。内容は実行委員が作成中です。完成したら配布しますので、今しばらくお待ちください。

今回はD組の作文を紹介します。



スキーの楽しさを知った移動教室

〈敬称略〉

D組

僕は最初スキー教室にはいきたくないと思っていました。理由はたくさんあります。スキーは難しそうだし、眠れるか、好き嫌いがあるので食事のことも心配で、部屋でもあまり話したことがない人もいて不安だったからです。不安な気持ちのまま移動教室当日になり、なんとなくおなかが痛く感じましたがなんとか集合場所へ向かいました。

バスの中ではレクのクイズが楽しく、バスの窓から見える山の景色がとてもきれいでした。

今回スキー教室に行く前に、一度経験してみようと、家族でスキーに行きました。スノーボードは何度かやったことがあったけれどスキーは初めてで、とても難しいと思いました。転ぶとなかなか立てないし、スノーボードと違って板が2本あり向きがバラバラになってしまったりして、とても大変でした。移動教室のスキーでは、一日目はまだ慣れず難しいと感じていましたが、インストラクターの先生は教え方が上手だと思いました。そのおかげか、二日目の午後から少しずつ転ばなくなり、自信がついて、スピードを出して滑ることが爽快でとても楽しめました。三日目になるともっとスキーで滑りたいと思いました。

移動教室の3日間はつかれてへとへとになりましたが、僕はスキーがとても好きになり、行ってよかったと思いました。

D組

二泊三日のスキー移動教室。スキーの技術向上、集団で生活するというのが今回のテーマだ。

三日間を通してスキーの技術は向上、上達した。多くの人が初日から音を上げていたが、最終日になるとスキーをしたいと言っていた。三日間で最も印象的だったのは、二日目の午前実習で巻き込み事故が起き、左手の筋を痛めたことだ。

今回の移動教室は、新たに学ぶこともあったが、集団で生活することの大切さを改めて感じた。また、物事の視点を変えてみることで、どのようなことも様々な見方ができると思った。規律やマナーの大切さを改めて感じた。このルールがなければと考えることが多く、集団生活において皆が守るべきものだと思うと同時に自身もルールを念頭におき、意識していこうと思った。

今回のスキー教室では、自然の厳しさ、雄大さを感じるとともに、雪上の楽しさ、集団生活の難しさを改めて理解した。また、多くの人の日々の生活における態度が露見した。特に起床・就寝などその後の予定が決まっており忙しいときを取る行動で今後大きく影響してくる。自身の行動をかえりみる必要があると思った。

スキーをなめちゃだめ

〈敬称略〉

D組

僕は、スキーを楽しみにしていましたが、正直スキーをなめていました。僕は友達にこう言いました。「どうせスキーなんて余裕っしょ」そう言いながらスキー場に向かいました。

まず、スキー板のはめ方を教えてもらった後、山をちょっとだけのぼり、滑る練習をしました。山をのぼろうとしたら滑って全然前に行けなくて、焦りました。その後頑張っただけのぼりしましたが、ブレーキが全然きかず、転んで痛い目にあいました。僕は「スキーってこんなに難しいんだ」と、とてもびっくりしました。僕はスキーをなめていたことを後悔しました。

やっていくうちに、息がしずらくなったり咳が出てきたりした僕は、小屋で休憩をしました。その間も「スキーってこんなに難しいんだ」と、ちょっと嫌いになり、次の日スキーをするのがとても不安になりました。

次の日、スキー場に向かい、リフトで上についたあと、みんなが滑れてしまう中、僕はとても怖くて滑りたくなかったです。そのとき、先生から「つまさきは、閉じたほうがいいよ」とアドバイスをもらいました。その通りにやったら、簡単に滑れてびっくりしました。その後カーブもできて、スキーの楽しさがわかりました。その後も、スキーが楽しくてたまらなかったです。

